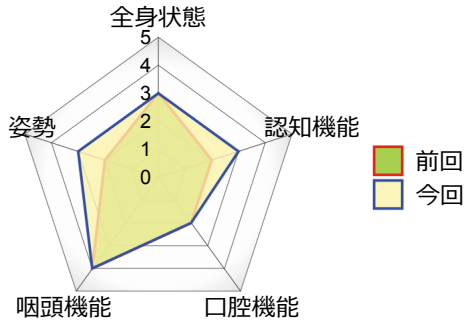
# 「い～とみる」判定結果

| 氏名 | 性別 | 生年月日 | 年齢 | 観察日 | 観察回数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 田部 泰造 | 男性 | 昭和11年5月9日 | 81 | 平成29年5月18日 | 2回目 |

**観察に参加した職種**

歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士・栄養士、言語聴覚士、介護支援専門員

**い～とみるスコア**




**食形態**

**主食**

**呼称:** 粥ゼリー
**嚥下調整食分類(2013):** 嚥下調整食3

**副食**

**呼称:** みじんトロミ食
**嚥下調整食分類(2013):** 嚥下調整食2-2

**とろみ**

中間

| 観察所見 | 考えられることは? | こんな対応策を検討しましょう! |
|---|---|---|
| **全身状態**<br>□どこか元気がない様子である<br>■現在37℃以上の発熱がある<br>□声掛けしても目を閉じたままである<br>■食欲がない<br>□自分一人で食べることが困難である | □栄養状態が悪い<br>□脱水の可能性がある<br>□処方薬が影響している<br>□認知症による食行動異常がある<br>□食べることを認識できていない<br>□テーブルの高さが合っていない<br>□食形態が合っていない<br>□口腔の衛生状態が悪い<br>□舌や口唇など口腔機能が低下している<br>□口腔内に歯科的問題がある<br>□嚥下する力が低下している<br>□誤嚥のリスクが高い<br>□もともと早食いである<br>□自力で食べることが困難である | □処方薬の影響について主治医に相談する<br>□脱水対策について検討する<br>□食事時間を変更する<br>□食事中の見守りや介助を行う<br>□テーブルの高さを調整する<br>□リクライニング式車いすを使用する<br>□枕を使用して頭部の位置を調整する<br>□食器具を変更する<br>□口腔ケアの方法について検討する<br>□歯科医師に口腔診察を依頼する<br>□食形態を変更する<br>□補助栄養を提供する |
| **認知機能**<br>■食べることを促しても拒否する<br>□食べもの以外のものを食べようとする<br>□落ち着きがなく食事に集中しない<br>■早食い傾向である<br>□なかなか食事が進まない | | |
| **口腔機能**<br>□食べこぼしがみられる<br>■上手く噛めない様子である<br>□入れ歯が必要なのに装着していない<br>■食事終了時、口腔内に食物残渣が多い<br>■食後、口腔ケアにより(食物残渣を)きれいにできない | | |
| **咽頭機能**<br>□お茶や汁物でむせる<br>□固形物(お茶や汁物以外)でむせる<br>□痰絡み(濁声)がみられる<br>■一口量にもかかわらず飲み込みに時間がかかる<br>□飲み込むときに苦しそうな表情がみられる | | |
| **姿勢**<br>□体が左右どちらかに傾いている<br>□極端にうつむいた状態である<br>■頭部が後方へ仰け反っている<br>□麻痺や緊張がみられる<br>■食事中に姿勢が崩れやすい | | |

見本

**追加コメント**

食塊形成が上手にできない様子です。また、入れ歯の装具を嫌がるので、入れ歯は無理に入れず食形態を学会分類(2013)コード2または3レベルで調整した方が良いかもしれません。
食事介助の際には、一口量を少なくし、口腔残量がないことを確認してから一口入れるように。体幹が右に傾斜しやすいので右ひじの下にクッションを入れた方が良いと思う。

注)本判定結果は誤嚥や窒息の診断または予測を行うものではございません

# 経口移行・経口維持計画書

| 多職種会議における議論の概要 | | | |
|---|---|---|---|
| (初回)作成日 | 平成29年6月6日 | 更新日 | |
| 摂食嚥下機能評価の実施項目 | 改定水飲みテスト(MWST)、食物テスト(FT)、頸部検診、嚥下内視鏡検査(VE) | | |
| 会議参加者 | 歯科医師、管理栄養士・栄養士、介護支援専門員 | | |
| 解決すべき課題や目標 | 誤嚥性肺炎の既往があるため、歯がなくても口腔ケアを徹底し、口腔乾燥しないようにする。また、食事中に呼吸が乱れることがあるため口腔内残留を確認しながら食事介助をする | | |
| 本人または家族の意向 | 胃ろうは希望せず。ご家族はできるだけ口から食べてもらいたいと希望している | | |
| 経口摂取継続のための評価 | ①食形態・とろみ・補助食品 | ■現状維持　□変更 | |
| | ②食事環境 | ■現状維持　□変更 | |
| | ③食事の介助方法 | □現状維持　■変更 | |
| | ④口腔ケアの方法 | □現状維持　■変更 | |
| | ⑤医療または歯科医療受療の必要性 | □あり　■なし | |

□経口移行加算　■経口維持加算(I)　経口維持加算(II) 適用

| 担当職種 | 担当者氏名 | 気づいた点、アドバイス等 |
|---|---|---|
| 歯科医師 | ●●● | 口呼吸により口腔乾燥しやすいため保湿剤を使用してください。<br>また、食後に口腔内残留の確認・除去と吸痰を行ってください |
| 介護支援専門員 | □□□ | 現在、胃ろうは希望しないということですが、今後の経口摂取の状況を見てご家族とも検討したい。 |
| 管理栄養士・栄養士 | △△△ | 中間のとろみ付けの際、ダマにならないように注意してください。 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 協力歯科医療機関 | | |

見本

| 同意者のサイン | | 続柄 | | 説明と同意を得た日 | 年　月　日 |
|---|---|---|---|---|---|